

福祉

在宅介護を支える介護者の支援策は 地域包括支援センターを中心に展開

介護者支援

秋本のり子議員(社民・市民)
平成18年の介護保険制度の改正により、介護の社会化が逆行して在宅介護の割合が増えている。在宅介護を支える家族を支援するためのサービスが必要であり、地域包括支援センターでの支援や課題と地域力を高めるためのコミュニティワーカーの増員等について問う。

答 介護者支援は、介護者も含めて世帯を支援することが大切であり、地域包括支援センターで、要介護者及び介護者からの相談に応じ、適切な支援を行っている。また、コミュニティワーカーも地域ニーズの把握等を行っており、活動状況を社会福祉審議会に報告し、今後の方向性を検討する。

高齢者支援

ひとり暮らし高齢者にどう対応 民生委員や地域のつながりを活用

二瓶忠良議員(日本共産党)
本市において、今後、ひとり暮らしの高齢者が増えていくと考えられる。市ではこうした高齢者の生活の実態をどのように把握し、対応しているのか。また、いざという時のための対応策はどのようなものになっているのかを問う。

答 民生委員が行う友愛訪問の対象には約2千人の登録があり、月1回から3回の訪問で安否確認や生活上のアドバイスなどを行っている。行政の目が届かない、孤立した高齢者には、民生委員、地域、社会福祉協議会との協働で進める地域ケアシステムを通じ、サロン活動などへの参加を促していく。

高齢者支援

市民意向調査をどう反映させる 施設整備や在宅介護の充実を図る

坂下しげき議員(ガバナンス)
本市も高齢社会を迎え、市民が望む事業を実現するためには、市民意向調査を踏まえ、将来の財政負担を

答 調査結果は、老人保健福祉計画や介護保険事業計画の策定に際し、市民ニーズの高い特別養護老人ホームの整備目標等に更に反映させるよう工夫する。また、施設入所希望者の多くが家族介護の負担軽減を理由に挙げているため、デイサービスなど、在宅介護サービスの拡充も図っていききたい。

防犯対策

頻発するひったくり被害の対応は 警察と連携した啓発活動を展開する

佐藤義一議員(市民連合)
最近、本市でひったくり被害が頻発しているが、市はどう対応しているのか。新聞によると、ひったくり

答 ひったくりは雇用情勢の悪化などから本市でも増加している。対応としては、青色防犯パトロールの拡充、街頭防犯カメラの設置等の施策の他、自転車の前カゴネット、バッグの持ち方等各人の心がけと対応が効果的であり、PRしている。引き続き警察と連携した啓発活動を展開していく。

災害時の自治機能

小学校防災拠点構想の確立必要 地域防災力向上に向け積極的に推進

田中幸太郎議員(みらい)
災害時には、行政機能がまひすることもあり、地域住民相互の自治機能が重要と考える。中心的避難場

答 阪神淡路大震災を例にとっても、災害時の公的支援には限界がある。そこで、平常時に、自治会、PTA、近くに住む市職員等が地域防災拠点運営委員会を立ち上げて、実情に合った防災訓練の実施や防災計画立案により、地域防災力を高める取り組みを積極的に推進したい。また、このことで、災害時要援護者への取り組みも進むと考えている。

まちづくり

県立市川北高等学校跡地利用

校舎を活用し保育施設の設置を 県を含めて全体計画の中で検討

中山幸紀議員(自由クラブ)
千葉県立市川北高等学校は、平成22年度に閉校すると聞く。跡地利用として、耐震改修済みの校舎に保育園、一時保育、保育クラブ等の保育施設を設置できないか。既存施設の活用は、経費の軽減と課題となっている待機児童を解消する良い機会である。保育施設設置の考えを問う。

答 閉校後の校舎利用は、改修費用などを考慮し、校舎の形態を生かせる計画が望ましいと考えている。校舎の一部を保育施設等、時代のニーズに応じた施設への活用も検討していくが、現在、同校は県所有のため、県を含めて跡地利用の全体計画の中で検討したい。

大和田、稲荷木地区の街づくり

道路による街の分断への対策は 生活道路の確保を進めていきたい

増田三郎議員(自由クラブ)
大和田、稲荷木地区の住民は、京葉道路により南北の行き来が不便である上、外環道路によって更に分断

答 分断対策は、本市が外環道路の受入れを回答した際に提出した9分類22項目について、事業者がこれに沿って検討し、都市計画決定内容等に反映したと認識している。いずれにしても、生活道路の確保が重要であり、今後は市が中心となって協議等を進めていきたい。

旧伝染病院隔離病舎跡地

跡地活用の協議状況は 病院南側の土地の一部と交換に合意

松永鉄兵議員(緑風会)
国府台病院敷地内にある旧伝染病院隔離病舎跡地は、本市が所有しているが、跡地活用について病院との協

答 跡地については、国府台病院南側の土地の一部と交換する基本合意書を病院と取り交わした。現在、跡地の埋蔵文化財調査等を実施している。また、スポーツセンターの再整備については、今後、交換用地の活用を含め、関係部門、関係機関と協議し改善案を検討していく。

市川駅南口再開発

風害の現状や商業活性化対策は 計画通りに進捗するよう努める

フリテイ長嶋議員(ガバナンス)
市川駅南口再開発事業における風害対策の現状と今後の対策について問う。また、商業施設は空き店舗が

答 風害対策は模型実験により計画してきた植樹とびさしの設置等により対応しているが、樹木の生育が遅れているものもあり、施工者に対応を働きかけていく。また、商業施設の活性化のためにも、計画通りに駅前広場の工事を進めたいと考えるが、イベント等の開催については、管理組合と相談していく。